

2016年
REHSEは
「勉強会」
を始めます

レゼミナール

「REHSeminar」開講！

大学等研究機関や企業が抱える様々な課題について、集中セミナー形式の勉強会を開催します。本勉強会は、テーマに沿った頭出しとなる講演や話題提供を行った後、皆でフリーディスカッションを行います。

第1回

実験研究における リスクアセスメントとは

2016年4月28日(木)

13:30～16:30 東京大学本郷キャンパス
環境安全研究センター新館 1F会議室



第1回 (平成28年4月28日(木) in 東京)

「実験研究におけるリスクアセスメントとは」
(keyword: 法対応、実験リスク、教育)

第2回 (平成28年7月28日(木) in 大阪)

「合理的な実験室計画の考え方」
(keyword: 多様性、非正常性、フレキシビリティ、共有)

第3回 (平成28年10月24日(月) in 東京)

「情報・コンテンツの共有と活用」
(keyword: 教育手法、事故事例、安全管理体制、外国人)

第4回 (平成29年1月26日(木) in 名古屋)

「創造性と自主的リスク管理のバランス」
(keyword: 保護具、相互巡視、OJT)

集中セミナー形式の勉強会をシリーズで開催！

第1回テーマ

「実験研究におけるリスクアセスメントとは」

本年6月より、労働安全衛生の一環として、化学物質のリスクアセスメントが義務化される。現在、各大学では具体的な法対応のやり方についての検討が急務となっているところであるが、一方で、大学の実験に伴う危険を考える上で、本来の実験研究におけるリスクアセスメントは、作業環境に関わる化学物質の暴露のみを対象とするものではなく、むしろ爆発・火災危険性や腐食性などのリスクに対する評価と対応の方が本質的な問題であるという考え方がある。

教育機関としての大学の役割に鑑み、法対応としてのリスクアセスメントという枠組みを超えて、実験作業における本質的なリスクアセスメントのあり方、安全教育の一環として実施するための具体的な方法についてレクチャーする。

また、このような観点を取り込んで開発された、実験教育現場で簡便に合理的なリスクアセスメントができるREHSE発のツール「山本式リスクアセスメントシート」を使った実習形式のディスカッションも予定している。

講師・コーディネーター：大島義人（東京大学教授）、山本仁（大阪大学教授）

参加申し込み

- 定員：30名（応募者多数の場合、先着順とします）
- 参加申込方法：ご所属とお名前を事務局メールアドレスまで送付ください。
- 参加費：資料代として3,000円（会員）、5,000円（非会員）
※当日、会場にてお支払いください。
- 全4回分をまとめてお申込み頂いた場合、資料代を4回分10,000円（会員）、同16,000円（非会員）と割引します（その場合、お振込みにてお支払ください）。通年でのご参加をご希望の場合は、お申し込み時にその旨お知らせください。



NPO法人 研究実験施設・環境安全教育研究会
Research for Environment, Health and Safety Education

問い合わせ先 REHSE 事務局

E-Mail : jimukyoku@rehse2007.com
TEL : 080-4383-2007
〒277-8563 千葉県柏市柏の葉5-1-5
環境棟468号室 東京大学 大島教授室内